資料５－２－１

郵便局に期待される役割と郵便局の利便性向上策

～郵便局活性化委員会ご説明資料～（2018.5.9）

全国郵便局長会　会長　青木　進

【住所】
〒１０６－００３２
港区六本木１－７－１７
☎　０３－３５０５－４８３０
※ホームページは「ゆうびん局長会」で検索してください。

郵便局の起源と歴史

日本文明の一大恩人　前島　密

明治のはじめ、日本に郵便の仕組みを築いた前島密（まえじまひそか）は、「日本近代郵便の父」と呼ばれ、現在でも1円切手の肖像として有名です。

前島密は郵便の創業者としてその名を不動のものとしていますが、郵便関連のほか、江戸遷都、国字の改良、海運、新聞、電信・電話、鉄道、教育、保険など、その功績は多岐にわたります。

郵便局長に受け継がれるDNA

郵便事業創業＝“民活”のはしり

明治４年　日本国において郵便事業が創業

明治維新の混乱期に郵便事業が創始されたため、郵便取扱所設置のための予算の余裕はありませんでした。

その中で、**前島密が「発案・実施」をしたのが、〝民間人の登用、民間資産の活用〟です。**

全国へ募った結果、**各地の名士・名望家が名乗りをあげ、明治５年には、北は北海道から、南は九州まで、創始以来わずか１年４か月にして、全国に統一された郵便網が完成します。**

“ボランティア精神”
給料は不要、局舎は提供する！
“誇りと使命感”
新しい時代への担い手となる！

全国郵便局長会の概要

現在、全国に２万４千局の郵便局が設置

（直営局が２万局、委託局（簡易郵便局）が４千局）

【全国郵便局長会の組織構成】

全国郵便局長会が中央に置かれるほか、１２の地方会、２３８の地区会で構成されています。

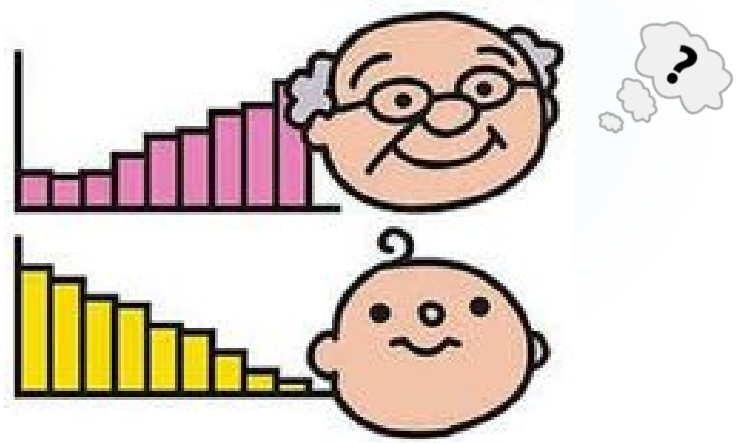
会員は**直営局の局長１万９千人**です。

【組織目的】

この会は、会員の団結により、**郵政事業及び「地域社会の発展に寄与」**するとともに、会員の勤務条件の向上を図ることを目的としています。(会則第３条)

郵便局ネットワークの利活用

◆昨今、国内では「少子高齢化」、「過疎化」が急速に進展し、大きな社会問題です。



◆これら対策の拠点として郵便局を利活用する声が高まっています。

◆私たちは、地域の皆さまの期待に精一杯応えて参ります。

郵便局に期待されている役割Ⅰ

地域

地域のみなさまからは、「**安全・安心・交流の拠点**」としての機能が求められています。

- 郵政三事業（ユニバーサル・サービスの提供）
- 防災　　（１万人の局長が防災士）
- 高齢者対策（みまもりサービス，買物サービスなど）
- 過疎地対策（地方創生の支援，行政事務の受託）
- 地域のコミュニティ機能

郵便局に期待されている役割Ⅱ

国会（参議院）

政府は、本法の施行に当たり、次の事項についてその実現に努めるべきである。

一　郵便局ネットワークについて、利用者のニーズを踏まえ地方公共団体からの委託等を通じ、地域住民の絆の維持や、利便の増進に資する業務を幅広く行うための拠点として、より積極的に活用されるよう務めること。

（郵政民営化法等の一部を改正する等の法律案に対する総務委員会附帯決議(平成24年4月26日)）

与党（自民党）

日本郵政グループの最大の特徴は、地域に深く根を下ろし住民から信頼を集める全国２４，０００局の郵便局ネットワークである。その郵便局を利活用したユニバーサルサービスは、郵政事業にとどまらず、現在政府が推進している地域を活性化させるための地方創生に対してもあらゆる可能性を秘めている。　（中略）

人口減少社会に入っている今日、「郵便局を中心として小さな拠点を形成し、みまもりサービス

等の高齢者へのサービスや、自治体の代替機能の提供を果たす」ことも期待される。「地域の中小企業に対する日本郵政グループによる他の金融機関との協調融資や共通のファンドからの出資において地域金融におけるリスク分散を図ること」も大切な地方創生への貢献である。そして「地方公共団体を積極的に支援することで地方創生に参加」して欲しい。

日本郵政グループの郵便局ネットワークの利活用に地域一丸となって取り組んでいくことが、わが国を地方から活性化させることになる一つの方策であると考える。

（日本郵政グループ 3 社の株式上場における郵政事業のあり方に関する提言（平成27年6月26日 自由民主党））

総務省

郵便局ネットワークは、郵政事業を支える大切なインフラであり、地域の生活を支えるインフラでもあることから、今後も郵便局ネットワークを維持していくために、既存の郵便局ネットワークを積極的に活用して、公益性・地域性が発揮できるよう、地方公共団体とも連携し、地方公共団体事務の取扱い、郵便局のみまもりサービス、マイナンバーカードを活用したキオスク端末の導入、などの取組を進めていくことが必要である。また、地方公共団体が事業主体となる地域振興や過疎対策に係る事業においては、郵便局も積極的に参画し、地域において重要な役割を果たしていくべきである。

（郵便のユニバーサルサービスに係る課題等 に関する検討会「これまでの議論の整理」（平成29年6月27日 総務省））

郵政民営化委員会

「ユニバーサルサービスの義務は法定事項であり、極めて重要である。今後は地方公共団体の事務取扱の拡大などを考える必要があると思うが、収益の確保などについて検討してほしい」との意見がある。

（第１７１回郵政民営化委員会後の会見）

郵便局の利便性向上策

- 現在、「**お客さま本位の姿勢で利用者の利便の向上に資する**」ために、日本郵便株式会社との間において「郵便局ネットワークの将来像」を策定中。

- 郵便局長会が重視するのは、「**公共性・公益性**」、「**ユニバーサルサービスの提供**」、そしてこれを展開するための「**現有ネットワークの維持・向上**」。

- 具体的には、郵政三事業のユニバーサル・サービスのほか、
  - 地域のニーズに合致した様々な金融商品の提供（≠全国一律）
  - みまもりサービスや地方公共団体の事務受託
  - 地域金融機関との協業
  - 高度なコンサルティング

  など
- また、重老齢社会を意識したサービスや地域のニーズに合致した商品・サービスの展開

例えば、

- 外出可能な高齢者・・・・郵便局のコミュニティ化（外出による健康維持効果）
  日用品等の販売　　（嵩物や重量物は配達）
- 外出困難な高齢者・・・・買物サービスなど機動力の発揮や移動郵便局など

これらを実現するために、窓口時間の短縮などの郵便局運営の弾力化を検討。

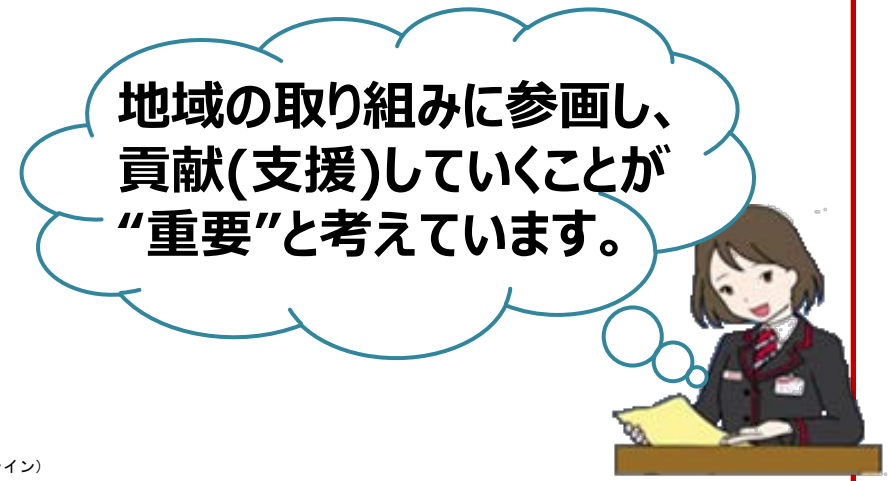
win-winの地方創生

地域の発展があってはじめて郵便局ネットワークも維持可能

特産品をふるさと小包としてゆうパックを活用して販売することも地方創生には有効ですが、これからは町全体の経済発展をめざすような取組が重要と認識。

ついては、今後、**観光や第６次産業（生産-加工-流通・販売)への支援など町全体の「活性化」及び「経済発展」をめざした「地方創生施策」を積極的に支援**します。

（出典：政府広報オンライン）



具体的な取組み

項　目	具　体　的　施　策　例	ﾍﾟｰｼﾞ
地方公共団体等との連携強化	①基本協定の締結（地域見守り活動、道路損傷連絡等の連携協定など） ②「まちづくり協議会」の再立上げ ③地域における地方創生の取組への参画、支援 ④過疎地から撤退する金融機関や支所等の事務の受託 ⑤ふるさと納税の返礼品にみまもり訪問サービス ⑥キオスク端末の郵便局配備 ⑦郵便ポストを地域情報発信の拠点に	13頁
商品活用による支援	①ふるさと小包 ②地方産品の業者向けの国際配送サービス ③全国物販カタログ掲載商品の試食・展示即売会の開催 ④オリジナルフレーム切手、ご当地フォルムカード	17頁
地域貢献	①都市部郵便局窓口ロビーを活用した地域特産品の物産展を開催 ②絵入りはがきの作成・配布 ③ゆうパックオリジナル箱の制作・普及 ④郵便局感謝イベント「福島・宮城・岩手　復興支援の旅」など ⑤ボランティア活動や地域イベントなどへの郵便局長等の積極的参加 ⑥郵便局舎のコミュニティとしての活用	21頁
安心の拠りどころ	①２万人の局長のうち、１万人が「防災士」や「認知症サポーター」として活躍 ②ＡＥＤ（自動体外式除細動機）を全国102局に配備	26頁
人　口　増	①移住に関する石川県との連携協定 ②観光誘致 ③婚活イベント　（福岡県飯塚市などで実施） ④子育て支援　（さいたま中央郵便局の施設内に認可保育所の開園など）	26頁

～ 地方公共団体等との連携強化 Ⅰ ～

① 基本協定の締結

地域見守り活動、道路損傷連絡、不法投棄連絡協定など

② 「まちづくり協議会」の再立上げ

各地方公共団体担当局長が中心となり、自治体（首長）様幹部とまちづくり協議会を開催し、地域貢献のために郵便局がお手伝いできる各種施策についてご提案させていただいてます。

③ 地域における地方創生の取組への参画、支援

④ 過疎地から撤退する金融機関や支所等の事務の受託

～ 地方公共団体等との連携強化 Ⅱ～

⑤ みまもり訪問サービス

	茨城県大子町	山形県寒河江市
契約形態	行政サービス受託	ふるさと納税返礼品
開始時期	2017年4月～	2017年10月～
提供内容	みまもり訪問&電話	みまもり訪問
対象者	75歳以上の独り暮らし住民	寄付者指定の住民
費用負担	地方公共団体	同左（寄付金の一部を充当）

ふるさと納税サイトの提供

① **納税サイト「ふるさとぷらす」**
（地方自治体の自慢の特産品だけでなく、その地域の情報も発信）

② **返礼品の企画／調達・配送／管理**

③ **各種関係書類の作成・発送**

【ポイント！】

- ✓ 日本郵便グループサイトからの集客
- ✓ お礼の品はカタログ販売事業を展開している「郵便局物販サービス」が担当
- ✓ ふるさと小包の開発、販売で培ったノウハウが満載
- ✓ 日本郵便グループがワンストップでふるさと納税業務を代行

～ 地方公共団体等との連携強化Ⅲ ～

⑥ キオスク端末の郵便局配備

マイナンバーカードで各種証明書が取得でき、カラーコピー印刷も可能なキオスク端末を全国14局に設置。

⇒北海道石狩市、新潟県南魚沼市、兵庫県小野市など

証明書の取得を行う林南魚沼市長様

【ポイント！】
- 庁舎が遠い住民の皆さまが郵便局で公的証明書の取得が可能！
- 市町村によっては役所の窓口での取得によりお得になる場合があります！
- 専用回線を使用し、安全な環境の中で通信をしているため、セキュリティーも万全で安心して利用できます！

取得可能な証明書類（例）

	南 魚 沼 市（越後上田郵便局）	十 日 町 市（橘郵便局）
取扱内容	① 住民票の写し ② 印鑑登録証明書 ③ 所得証明書（児童手当用・児童扶養手当用も発行可） ④ 所得・課税（非課税）証明書	① 住民票の写し ② 印鑑登録証明書 ③ 戸籍証明書（全部事項証明書、個人事項証明書） ④ 戸籍の附票の写し

～ 地方公共団体等との連携強化Ⅳ ～

⑦ 郵便ポストを地域情報発信の拠点に！

◆ ＱＲコード付ステッカーを郵便ポストに貼り付けたスマートフォン向け地域情報の発信！

～ 商品活用による支援Ⅰ ～

① ふるさと小包（例）

◆ 地方産品を「ふるさと小包カタログ」に掲載し、郵便局で販売・展開！

魚沼・青森・静岡うまいもの発

魚沼・青森・静岡地域の特産品をまとめたカタログ（2017.4.1～）

2017年12月末 取扱個数

44,284 個

佐渡特選品

佐渡島の特産品をまとめたカタログ（2017.4.1～）

2017年12月末 取扱個数

3,296 個

南信州うまいんだに

飯田・南信州の特産品をまとめたカタログ（2017.4.1～）

2017年12月末 取扱個数

3,719 個

上越特産品

上越地区の特産品をまとめたカタログ（2017.5.1～）

2017年12月末 取扱個数

3,225 個

～ 商品活用による支援Ⅱ ～

② 地方産品の業者向けの国際配送サービス

◆ 郵政のグループ会社であるトールグループの物流網を利用して、特産品を海外に向けて配送

特産品

シンガポールをはじめとする
ＡＳＥＡＮ諸国へ

③ 全国物販カタログ掲載商品の試食・展示即売会(例)

- イベント概要
  2017年8月27日（日）ニュー・グリンピア津南（新潟県津南町）
- 出品業者数
  45社
- 来場者
  約2,000人

今回のイベントにより、地域産品のアピール、販売拡大等に繋がり、会場は大賑わいでした。

津南町長様、十日町市長様、南魚沼市副市長様に出席いただきました。

お客さまで賑わう各ブース

～ 商品活用による支援Ⅳ ～

④ オリジナルフレーム切手、ご当地フォルムカード(例)

◆ 各所の風物など地域ならではの題材をもとにしたオリジナルフレーム切手を企画・発売

＜オリジナルフレーム切手＞

フレーム切手

ポストカード

GENBI SHINKANSEN
（現美新幹線）

松本城の四季

＜ご当地フォルムカード＞

新潟　おぢや風船一揆

長野　信州そば

新潟　魚沼産コシヒカリ

長野　真田信繁（幸村）

～　地域貢献Ⅰ　～

①　都市部郵便局窓口ロビーを活用した地域特産品の物産展（例）

魚沼観光物産展

開催日時：　2017年10月17日(火)～20日(金)9:30～17:00
開催場所：　深川郵便局　〒135-8799　江東区東陽4-4-2
参加企業：　10月17日～18日３社、10月19日～20日３社(計6社)
内　　容：　魚沼産コシヒカリ、笹だんご、そば、米菓などの販売

※一部の商品については、試食を実施

②　絵入りはがきの作成・配布（例）

◆　錦鯉や風船一揆、牛の角突きなど２０種類を作成

自治体主催のイベントのプレゼントなどに活用していただき、自治体関係者やお客さまからも大好評をいただいています。

～　地域貢献Ⅲ　～

③　ゆうパックオリジナル箱の制作・普及（例）

◆　佐渡観光用のお土産と荷物を送るオリジナル箱の企画・デザイン作成、普及の取組み

三浦佐渡市長様から「ふるさと納税の返礼品の箱として佐渡をＰＲしたい。」との発言をいただきました。

15・新潟・佐渡　2017年(平成29年)8月5日(土曜日)　新潟日報

佐渡

河崎小4年　角坂　響

ぼくがチャレンジしていることは、日米…

佐渡支局　〒952-0006　佐渡市千種1114-9　(0259)27-5406　(27-4811)

おかみ有志ら製作

金銀山、トキ、たらい舟…

段ボール箱 佐渡つぼく

土産発送用 魅力一目で

佐渡の観光と物産をアピールしようと、市内の旅館、ホテルのおかみらでつくる美佐渡会と佐渡地区婦人会連絡協議会は、土産物の発送用にオリジナルの段ボール箱を製作した。金銀山やトキ、たらい舟などが赤と青の2色で鮮やかに描かれ、佐渡の魅力が一目で伝わるデザインとなっている。

佐渡オリジナルの段ボール箱を持つ美佐渡会の安部恵子会長＝佐渡市相川大浦の青葉会館

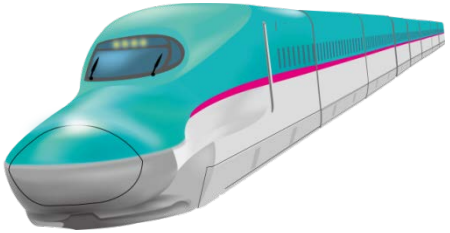
島内関係者の間で話題になっていたが、美佐渡会の会員が発案し、婦人会連絡協議会が製作を依頼、相川地区にある会員多数の青葉会館のおかみで、会の会長を務める安部恵子さん（53）は「佐渡が大きく描かれた段ボールを発送した人が喜べばいいなら自分ではず一目で佐渡をアピールできるものを作りたかった」と話し、デザインを担当したのは、唯一男性の手掛けた箱は、唯一男性ならではの視点が光っている。絵、輪、魚、行きたくなる佐渡の見どころが大きく描かれている。絵、輪、魚、行きたくなる佐渡の見どころが大きく描かれている。絵、輪、魚、行きたくなる佐渡の見どころが大きく描かれている。

新潟日報　2017年8月5日（15面）

三浦佐渡市長への贈呈模様

④　郵便局感謝イベント（例）

「福島・宮城・岩手　復興支援の旅」



◆　2017年9月24日（日）～25日（月）の二日間、約750名のお客さまと復興支援の旅を開催

◆　参加費に義援金（1人200円）を含めたほか、車中においても参加者から心温まる義援金を募り、尊い志と義援金を旅の中で宮城県名取市、福島県飯館村へ直接お届けしました

宮城県・山田名取市長様に義援金をお渡ししました（福島県・飯館村長様にも義援金をお渡ししています。）

～　地域貢献Ⅴ　～

⑤　ボランティア活動や地域イベントなどへの積極的参加

⑥　郵便局舎のコミュニティとしての活用

～　安心の拠りどころ　～

① 全国２万人の局長のうち、１万人が「防災士」や「認知症サポーター」として活躍

② AED（自動体外式除細動器）を全国の郵便局に配備

～　人　口　増　～

① **移住に関する県との連携強化**

局長が住居、仕事、風習、イベント情報を提供

② **婚活イベントの開催**

③ **観光誘致への支援**

④ **子育て支援**

郵便局の施設内に保育園を開園